

2019.9.7-8

AUTOPOLIS

Round

06

final

k-tunes
RACING



絶妙のタイミングでピットストップ
惜しくも表彰台を逃すも5位入賞

SUPER GT

決勝レースのスタート、空は分厚い雲に覆われたものの、まだ雨は降っていませんでした。スタートドライバーの阪口晴南選手はスタートで1つポジションを落とし9位へ。そして1周目、GT500クラスのマシンがクラッシュしたため、早くも1度目のセーフティカーが入ります。7周目に解除され再スタート、8位へとポジションを戻します。やがて5台の第2集団の最後尾になりますが、先頭のマシンのペースが悪く抑えられているような状況に。阪口晴南選手は「コーナーでは追いつくんですが、オーバーテイクのポイントでは相手が速くて」と、ポジションを上げることができません。

そうしているうちに、天気予報通りに18周目、雨が降り始めました。しかしその雨量は少なく、まだslickタイヤで走行可能です。オーバーテイクが難しい硬直したレース展開の中、上位のマシンが早めのピットストップを実施。阪口晴南選手は23周目に6位、26周目に5位。その頃コースの一部では雨量が多くなってきました。そして31周目には3位にまでポジションを上げ、32周目ピットストップし新田守男選手





と交代、タイヤをレインへと交換します。そして、このタイミングでスピンをしたマシン回収のために、2度目のセーフティカーが入ります。ピット作業のタイムロスを再スタート時にはゼロにできる、まさに絶好のタイミングでした。

新田守男選手はピットストップで12位にポジションを落としましたが、上位のマシンはスリックのままで、38周目の再スタートでは想像通り一気にピットインし、すぐに3位へポジションを戻します。41周目には3度目のセーフティカーが入りますが、その再スタート以降、雨がかなり弱くなり、ペースが厳しくなります。レインタイヤが乾いた路面ではグリップが低いのです。

そして60周目、スリックタイヤでペースが10秒も速い60号車が一気にポジションを上げていき、新田守男選手は4位へ。さらにファイナルラップで5位でチェックカーフラッグを受けました。惜しくも表彰台は逃したものの、ライバルたちよりも上位となり、ポイント差を縮めることができました。

2019 AUTOBACS SUPER GT Round6 AUTOPOLIS GT 300km RACE

オートポリス

2019年9月8日 天候：曇り/雨 路面：Dry/Wet

final

Po	No	Machine	Driver	Laps	Best Lap	Diff. (sec)	Tire	WH
1	60	SYNTIUM LM corsa RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	吉本 大樹 宮田 莉朋	62	1'48.814	2:19'33.864	DL	10
2	720	McLaren 720S McLaren 720S GT3 / M840T	荒 聖治 アレックス・パロウ	62	1'49.141	12.332	YH	
3	88	マネパ ランボルギーニ GT3 Lamborghini HURACAN GT3 / DFJ	小暮 卓史 元嶋 佑弥	62	1'49.218	19.792	YH	51
4	4	グッドスマイル 初音ミク GT3 Mercedes AMG GT3 / M159	谷口 信輝 片岡 龍也	62	1'47.091	27.054	YH	37
5	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	62	1'47.830	30.349	BS	60

ファステストラップ : 1'47.091 No.4グッドスマイル 初音ミク GT3 片岡 龍也

監督・選手コメント



Team Director

影山正彦

非常に難しいコンディションだったんですが、最善のピットタイミングで上位入賞することができました。予選8位から正攻法で戦って、決勝5位というのは、現状では満足できる結果になったと思います。



Driver

新田守男

終盤は雨が上がって、思ったよりも早く路面が乾いてしまったので、苦しかったですね。タイヤを使わないようにマネージメントしていましたが。ライバルよりも前でゴールできたのも良かったですね。



K-tunes Racingについてのお問い合わせは
yushi_kamimoto@okayama-toyopet.jp 070-7561-1454